



自分の思いを伝え、互いに認め合うこと

副校長 富岡 直子

日に日に寒さが厳しくなっていますが、子どもたちは、寒さに負けず元気に外遊びをしています。また、各クラスからは丸小フェスタに向けて準備している子どもの姿が見られます。今年の丸小フェスタは、「学んだことを分かりやすく発表し『そうなんだ』が増える丸小フェスタにしよう」の全校テーマのもと、相手に分かりやすく伝え、認め合えるように取り組んでいます。

今年度本校では、道徳科の授業を中心に「夢中になって問題解決に向かう子どもたちの育成をめざして～自分の思いを伝え、互いに認め合うことができる子を育てる指導のあり方～」を研究テーマに重点研究を進めています。

例えば、日常生活や体育・音楽などの時間に友達にアドバイスをしているのだけれど、分かってくれなかったり、自分もアドバイスを素直に聞き入れなかったりしているままでいいのかなと問題意識をもって「いつでも友達と助け合っていくには、どんな考えが大切だろう。」と学習課題を設定します。各学年の発達段階に合わせた教材を使って、『相手の気持ちを考えたり、相手のよさを認め合ったりすることが大切。そうすると、自分のできることを教えてあげたいという気持ちになり、一緒に成長することができる』と価値把握します。「アドバイスをして知らんぷりされてもあきらめずに相手のことを考えて助ければ、アドバイスをした方ももらった方もうれしくなるのだなと思いました。」など、子どもが自分の思いを伝え合います。授業の終わりには、学習後の日常生活などにつなげられるようにエピソードなどを伝えます。

丸山台中学校ブロックでは、9年間で育てる子ども像を「・いつでも元気よくあいさつできる子ども・一人ひとりを大切にできる子ども・すすんで学習しようとする子ども」と共有化しています。「小中9年間の教育課程を互いに理解し、子どもたちの豊かな心を育てよう」と研究し、年間を通して授業参観を行い情報交換しています。今年度は、下野庭小学校と丸山台小学校が重点研究している道徳科の授業についても活発な意見交換を行っています。小学校から中学校へのつながりを大切にしながら、子どもたちが自分の思いを自信をもって伝え、友達の思いを聞きながら自分を見つめ考えを深められる授業を目指しています。

12月2日(土)の丸小フェスタでは、中期学校経営方針の学校の特色にある「食を通して自然と人との出会いを大切にし、自分の健康はもとより、食をとりまく環境に目を向けながら自然との共存や日本・世界の人々との共生・平和を考える食の学び」に取り組んだ成果を発表します。ぜひ丸小フェスタにご来校いただき、自分の思いを伝え、互いに認め合っている成長した子どもの姿を見てください。

